

# 第〇〇回国民体育大会 〇〇競技に関するアンケート

女子・小学生用

実施：公益財団法人 日本体育協会

みなさんに答えていただいた内容は、他の人に知られることは絶対にありませんので、安心してすべての質問に答えてください。それぞれの質問を読んで、あてはまる番号を○で囲み、( ) には直接書くようにお願いします。

## I あなたのことについてお聞きします

- (1) 住んでいるところ 1. 〇〇県内 2. 〇〇県外 ( ) 県
- (2) 年 齢 & 学 年 ( ) 歳 ( ) 年生
- (3) あなたは、今、どのようなスポーツを行っていますか。スポーツの名前を記入してください。たくさんある人は、3つまで記入してください。※何もしていない方は空欄でかまいません。  
① ( ) ② ( ) ③ ( )
- (4) 女子の〇〇競技を観戦または体験して、どのくらい〇〇競技に興味や関心が増えましたか。  
1. とても増えた 2. まあまあ増えた 3. あまり増えていない 4. 全く増えていない
- (5) 女子の〇〇競技を観戦または体験して、〇〇競技を今後してみたい(教えてもらいたい)と思いますか。  
1. 大変思う 2. まあ思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない
- (5) - 2 上記(5)の番号に○をつけた理由を自由に書いてください。

- (6) あなたは、以下にあげる「〇〇競技」に関する事柄について、どのくらい心に残っていますか。  
「5. とても残っている」～「1. まったく残っていない」の中から1つ選び、番号を○で囲んでください。

	まったく残っていない	あまり残っていない	どちらともいえない	まあまあ残っている	とても残っている
1) 選手達のすごいプレーや技	1	2	3	4	5
2) レベルの高い試合・ゲーム	1	2	3	4	5
3) セレモニー・イベント	1	2	3	4	5
4) テレビ・CM・新聞などで〇〇競技が取り上げられたこと	1	2	3	4	5
5) 有名な選手が競技に出場していたこと	1	2	3	4	5
6) 〇〇県の選手達との交流	1	2	3	4	5
7) 〇〇県の選手達の成績	1	2	3	4	5
8) 他の県の選手達の成績	1	2	3	4	5
9) 〇〇競技で使用されたグラウンド等の会場の印象	1	2	3	4	5
10) 自分の身近で競技に出場した選手の成績	1	2	3	4	5
11) 自分の住んでいる近くで試合があったこと	1	2	3	4	5
12) 国体のためのボランティア活動	1	2	3	4	5
13) 〇〇県の選手達が〇〇県のために頑張っている姿	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
このアンケートは、かえりに「回収箱(かいしゅうばこ)」に入れてください!

# 第〇〇回国民体育大会 〇〇競技に関するアンケート

女子・中高生用

実施：公益財団法人 日本体育協会

みなさんに答えていただいた内容は、他の人に知られることは絶対にありませんので、安心してすべての質問に答えてください。各質問を読んで、あてはまる番号を○で囲み、( ) には記入をお願いします。

## I あなた自身のことについてお聞きします

- (1) 居住地 1. 〇〇県内 2. 〇〇県外 ( ) 県
- (2) 性別&年齢 1. 男 2. 女 ( ) 歳
- (3) 現在、あなた自身は、どのようなスポーツを行っていますか。種目名を記入してください。  
複数ある方は、3つまで記入してください。※何もしていない方は空欄でかまいません。  
① ( ) ② ( ) ③ ( )
- (4) 女子の〇〇競技を観戦して、どのくらい〇〇競技に興味や関心が増えましたか。  
1. とても増えた 2. まあまあ増えた 3. あまり増えていない 4. 全く増えていない
- (5) 女子の〇〇競技を観戦して、〇〇競技を今後してみたい(指導を受けてみたい) と思いますか。  
1. 大変思う 2. まあ思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない
- (5) - 2 上記(5)の番号に○をつけた理由を自由に書いてください。

- (6) あなたは、以下にあげる「〇〇競技」に関する事柄について、どのくらい心に残っていますか。  
「5. とても残っている」～「1. まったく残っていない」の中から1つ選び、番号を○で囲んでください。

	まったく残っていない	あまり残っていない	どちらともいえない	まあまあ残っている	とても残っている
1) 選手達の華麗(かれい)なプレーや技	1	2	3	4	5
2) レベルの高い試合・ゲーム	1	2	3	4	5
3) 〇〇競技でのセレモニー・イベント	1	2	3	4	5
4) テレビ・CM・新聞などで〇〇競技が取り上げられたこと	1	2	3	4	5
5) 有名な選手が競技会に出場していたこと	1	2	3	4	5
6) 〇〇県の選手達との交流	1	2	3	4	5
7) 〇〇県の選手達の成績	1	2	3	4	5
8) 他の県の選手達の成績	1	2	3	4	5
9) 〇〇競技で使用されている競技会場に対する印象	1	2	3	4	5
10) 自分の身近で競技に出場した選手の成績	1	2	3	4	5
11) 自分の住んでいる近くで試合があったこと	1	2	3	4	5
12) 会場内・外でのボランティア活動	1	2	3	4	5
13) 〇〇県の選手達が〇〇県のために頑張っている姿	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
本アンケートは、お帰りの際、回収箱に入れてください。

**第〇〇回国民体育大会 〇〇競技に関するアンケート**  
**実施：公益財団法人 日本体育協会**

一般用

御回答いただいた内容は、他の人に知られることは絶対にありませんので、安心してすべての質問に答えてください。各質問を読んで、あてはまる番号を○で囲み、( )には記入をお願いします。

- (1) 居住地 1. 〇〇県内 2. 〇〇県外 ( ) 県
- (2) 性別&年齢 1. 男 2. 女 ( ) 歳
- (3) - 2 現在、あなた自身は、どのようなスポーツを行っていますか。種目名を記入してください。複数ある方は、3つまで記入してください。※何もしていない方は空欄でかまいません。  
 ① ( ) ② ( ) ③ ( )
- (3) - 2 現在、あなたのご家族に、未成年で女子のお子様（お孫さま）はいますか。 1. いる 2. いない
- (3) - 3 (3) - 2で、「 1. いる 」とご回答された方はお答えください。  
 その方（女子）は、現在、どのようなスポーツを行っていますか。種目名を記入してください。複数ある方は、3つまで記入してください。※何もしていない方は空欄でかまいません。  
 ① ( ) ② ( ) ③ ( )
- (4) 女子の〇〇競技を観戦して、どのくらい〇〇競技に興味や関心が増えましたか。  
 1. とても増えた 2. まあまあ増えた 3. あまり増えていない 4. 全く増えていない
- (5) 女子の〇〇競技を観戦して、〇〇競技を今後してみたい（指導を受けてみたい）と思いますか。  
 1. 大変思う 2. まあ思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない
- (6) (3) - 2で「 1. いる 」とご回答された方はお答えください。  
 その方（女子）に、〇〇競技をやらせてみたい（指導を受けさせてみたい）と思いますか。  
 1. 大変思う 2. まあ思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない
- (6) - 2 上記（6）の番号に○をつけた理由を自由に書いてください。

- (7) あなたは、以下にあげる「〇〇競技」に関する事柄について、どのくらい心に残っていますか。  
 「5. とても残っている」～「1. まったく残っていない」の中から1つ選び、番号を○で囲んでください。

	まったく残っていない	あまり残っていない	どちらともいえない	まあまあ残っている	とても残っている
1) 選手達の華麗（かれい）なプレーや技	1	2	3	4	5
2) レベルの高い試合・ゲーム	1	2	3	4	5
3) 〇〇競技でのセレモニー・イベント	1	2	3	4	5
4) テレビ・CM・新聞などで〇〇競技が取り上げられたこと	1	2	3	4	5
5) 有名な選手が競技会に出場していたこと	1	2	3	4	5
6) 〇〇県の選手達との交流	1	2	3	4	5
7) 〇〇県の選手達の成績	1	2	3	4	5
8) 他の県の選手達の成績	1	2	3	4	5
9) 〇〇競技で使用されている競技会場に対する印象	1	2	3	4	5
10) 自分の身近で競技に出場した選手の成績	1	2	3	4	5
11) 自分の住んでいる近くで試合があったこと	1	2	3	4	5
12) 会場内・外でのボランティア活動	1	2	3	4	5
13) 〇〇県の選手達が〇〇県のために頑張っている姿	1	2	3	4	5

質問は以上です。アンケートへの御協力、誠にありがとうございました。

〇〇競技・女子イベント事業参加のみなさま

国民体育大会と女性アスリート強化方策に関する調査

選手用

御回答は記名でいただきますが、個人情報の取扱いには十分留意し、統計的に処理する目的以外には使用いたしませんので、アンケートに御協力いただきますよう、何卒よろしく申し上げます。

◆調査 公益財団法人 日本体育協会

**問1** 国体・〇〇競技に女子種目が正式競技として導入された場合、将来的に競技の普及や強化の促進に寄与できる可能性があります。皆さんはどのようなことを期待しますか。ご自身のわかる範囲で結構ですので、以下の全ての項目について、「1：まったく期待していない」から「5：大いに期待している」でお答えください（それぞれ〇はひとつ）。

	まったく期待していない	あまり期待していない	どちらともいえない	やや期待している	大いに期待している
1) 男性と同じように、女性が競技に取り組みやすいようにするための支援の強化	1	2	3	4	5
2) 女性アスリートの強化を支援する企業・団体・組織等の増加	1	2	3	4	5
3) 女性スポーツに関する情報共有の場の増加	1	2	3	4	5
4) レベルの高い専門知識・技術を有する指導者が増え、ジュニア期から指導を受けることができる	1	2	3	4	5
5) 現在の自分の競技レベルにふさわしいコーチの指導を受けることができる	1	2	3	4	5
6) 引退後（セカンドキャリア）の生活のための様々な支援の強化	1	2	3	4	5
7) ジュニアが参加できる全国大会やトップアスリートが開催できる全国大会などの増加	1	2	3	4	5
8) 国際大会に参加するための財政的な支援の強化	1	2	3	4	5
9) 女性特有の身体・生理的特徴を考慮したトレーニング、コンディショニング方法の提供の充実	1	2	3	4	5
10) 女性特有の傷害・疾病の予防や処置に関する知識の提供の充実	1	2	3	4	5
11) マスコミの関心が高まる（マスコミでの報道が増える）	1	2	3	4	5

**問2** 国体への女子種目の導入は、将来的に女子〇〇競技の普及（地域の方々への知名度や競技を始める人の増加）につながるものと思いますか（あてはまるものに〇を1つ）。

1. まったく思わない                      2. あまり思わない                      3. どちらともいえない  
4. ややそう思う                              5. かなりそう思う

**問3** 国体への女子種目の導入は、将来的に女子〇〇競技の強化（選手の発掘から育成を含め）につながるものと思いますか（あてはまるものに〇を1つ）。

1. まったく思わない                      2. あまり思わない                      3. どちらともいえない  
4. ややそう思う                              5. かなりそう思う

**問4** 国体に〇〇競技女子種目が正式に導入された場合、国体への出場を目指していきたいと思いますか（あてはまるものに〇を1つ）。

1. まったく思わない                      2. あまり思わない                      3. どちらともいえない  
4. ややそう思う                              5. かなりそう思う

最後に個人プロフィールについてお答えください。

専門競技を始めた年齢	[      ] 歳	専門競技に専念することを決めた年齢	[      ] 歳
生涯の最高成績 (シニアの大会)	1. 世界大会（オリンピック、世界選手権、世界ランクなど）3位以内 3. 世界大会（オリンピック、世界選手権、世界ランクなど）ベスト16	2. 世界大会（オリンピック、世界選手権、世界ランクなど）4～8位 4. アジア大会ベスト8	5. 全国大会出場    6. その他
最近2年の最高成績 (シニアの大会)	1. 世界大会（オリンピック、世界選手権、世界ランクなど）3位以内 3. 世界大会（オリンピック、世界選手権、世界ランクなど）ベスト16	2. 世界大会（オリンピック、世界選手権、世界ランクなど）4～8位 4. アジア大会ベスト8	5. 全国大会出場    6. その他
職 業	1. 学生（全日制）    2. 学生（通信制）    3. 会社員/自営業（フルタイム）	4. 会社員/自営業（パートタイム）	5. アスリート活動のみ 6. その他 [      ]    就業時間：1日（      ）時間
生 年	19 [      ] 年	16歳未満の扶養家族	1. いる    2. いない
主にトレーニングする国	[      ]	国 籍	1. (生涯) 日本国籍    2. 多重国籍    3. [      ] 年前に日本に帰化した
最終学歴	1. 中学校    2. 高等学校    3. 大卒以上    4. その他 [      ]	※在学中は在学している学校に〇	

氏名 \_\_\_\_\_

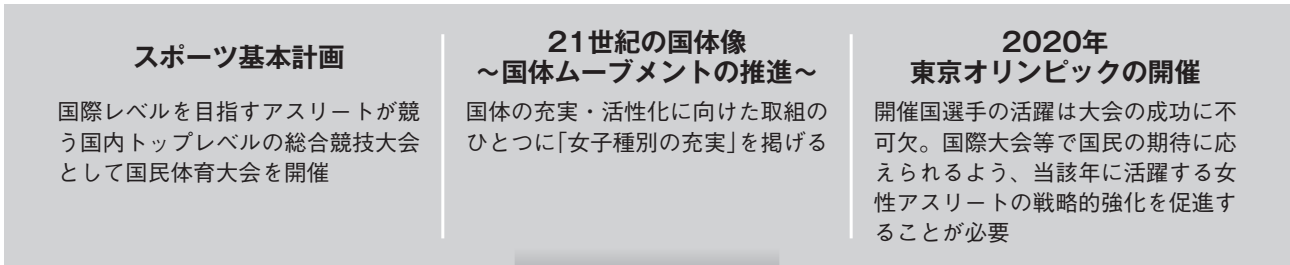
※調査の重複を避けるために、お名前を記入をお願いしております。第三者に皆さまの許可なく、お名前を開示することは一切ございません。

質問は以上です。アンケートへの御協力、誠にありがとうございました。

# 女性アスリートの強化支援プロジェクト 国民体育大会におけるオリンピック女子種目導入に関する調査研究 (イメージ図)

## 【概要】

2020年東京オリンピックの成功に向け、国体を通じた女性アスリートの戦略的強化を促進するため、現在、女子種目が未実施となっているオリンピック実施競技を国体へ導入し、国内での当該競技の普及・発展に寄与し、もって、オリンピックに向けた女性アスリートの国際競技力の向上を支援する。



# 女性アスリートの国際競技力向上 オリンピックでのメダル獲得

# 国民体育大会における2020年オリンピック対策 実行計画

## 1.はじめに

平成25（2013）年9月に、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、大会の成功、とりわけオリンピック競技大会の成功を左右すると考えられる日本選手の活躍を目指し、アスリートを計画的に発掘・育成・強化することの重要性がより一層高まっている。

日本体育協会（以下「日体協」という。）では、平成24（2012）年3月に策定された国の「スポーツ基本計画」及び平成25(2013)年3月に日体協が策定した「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」等の主旨を踏まえるとともに、オリンピック競技大会の成功に向けて、国民体育大会（以下「国体」という。）における「少年種別（ジュニア世代）の充実」、「女子種別の充実」を中心としたアスリートの発掘・育成・強化を促進するため、関係機関・団体等と協議・検討し、実行計画を策定した。

なお、本実行計画は、国体をめぐる今後の国内経済状況の変化やスポーツ界の動向等を踏まえ、所要の見直しを行っていくものとする。

## 2.実行計画の内容

オリンピック競技大会の実施競技・種目で国体において未実施の競技・種目・種別のうち、下記（1）により選定した対象競技・種目・種別について、各大会の開催県及び会場地市町村との調整が整ったものをイベント事業として実施する。

イベント事業として実施した対象競技・種目・種別のうち、正式競技（種目・種別）への導入条件を充たし、かつ各大会の開催県及び会場地市町村との調整が整ったものを正式競技（種目・種別）として実施する。

### （1）対象競技・種目・種別の選定

#### 1）選定方法について

選定にあたっては、国体における実施競技の区分や実施競技選定の状況を加味した上で、オリンピック競技大会と国体を比較し、国体で実施されていない競技・種目・種別について、当該中央競技団体に対する調査やヒアリングの結果を踏まえて「国体における2020対策プロジェクト」において協議し、国民体育大会委員会（以下、「国体委員会」という。）で選定した（詳細「資料No.1」参照）。

#### 2）対象競技・種目・種別について

国体委員会においては、下表の競技・種目・種別を選定した。

競 技	種 目	種 別
水 泳	水球	女 子
	オープンウォータースイミング	男子・女子
ボクシング		女 子
バレーボール	ビーチバレーボール	男子・女子
体 操	トランポリン	男子・女子
レスリング		女 子
ウエイトリフティング		女 子
自 転 車	トラック・ロード	女 子
ラグビーフットボール	7人制	女 子
トライアスロン		男子・女子



## (2) スケジュール・実施形態

実行計画のスケジュール・実施形態は下表の通りとする（詳細「資料No.2」「資料No.3」参照）。

実施規模・会期などについては、各大会の開催県及び会場地市町村における競技施設や宿泊施設の状況等に鑑み、柔軟に対応する。

	対象大会	実施形態
ステップ1	平成26(2014)年・第69回大会(長崎県)	イベント事業
ステップ2	平成27(2015)年・第70回大会(和歌山県)	イベント事業
ステップ3	平成28(2016)年・第71回大会(岩手県) 平成29(2017)年・第72回大会(愛媛県) 平成30(2018)年・第73回大会(福井県) 平成31(2019)年・第74回大会(茨城県) 平成32(2020)年・第75回大会(鹿児島県) 平成33(2021)年・第76回大会(三重県) 平成34(2022)年・第77回大会(栃木県)	正式競技(種目・種別) またはイベント事業

### 1) イベント事業について

- ・試合形式の競技会（エキシビジョンマッチ）等を実施する。
- ・事業の企画・運営は、中央競技団体が主体的に行う。
- ・参加選手の選考や、選手の参加及び事業実施に伴う経費の負担については、中央競技団体とする。
- ・国体の総合成績の対象としない。

### 2) 正式競技（種目・種別）について

- ・イベント事業の成果を踏まえ、下記（3）に記す正式競技（種目・種別）への導入条件を充たした競技・種目・種別を正式競技（種目・種別）とする。
- ・選手・監督の派遣は、都道府県体育（スポーツ）協会が行う。
- ・本大会の予選会としてブロック大会を開催する場合は、中央競技団体が主体となって企画・運営する。
- ・開催県選手は当該競技のブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。
- ・競技会（ブロック大会含む）実施及び選手・監督の派遣に伴う経費等の負担については、下記（4）による。
- ・国体の総合成績の対象とする。

## (3) 正式競技（種目・種別）への導入

### 1) 導入条件について

都道府県対抗として成立することを前提とし、以下の条件を充たすことが必要。

- ①当該競技（種目・種別）における1県あたりの登録競技者が、当該競技団体の意向を踏まえて国体委員会が定める参加人員数を上回る※1こと。
- ②上記①を充たす都道府県が原則として40以上※2あること。

<※1> 例：1チームあたりの参加選手数が10名の場合、都道府県ごとに10名以上の登録競技者が必要。

また、階級制等を有する競技・種目・種別については、当該競技団体の意向を踏まえて国体委員会が定める階級並びに参加人員数に対応できる登録競技者が必要（例：レスリング・53kg級・女子種別を実施する場合、その階級に出場可能な都道府県ごとの女子登録競技者が、参加人員数を上回ること）。

<※2> 「国民体育大会開催基準要項」において、『正式競技は、日体協加盟競技団体のうち、原則として、40以上の日体協加盟都道府県体育協会等に加盟している団体の競技とする。』と規定するなど、「40以上」を都道府県における普及状況等を図る指標としてきたことから本実行計画においてもこれを準用する。

## 2) 導入の決定時期について

各大会における正式競技（種目・種別）については、上記導入条件の充足状況を踏まえるとともに、開催県及び会場地市町村と実施規模等を調整し、決定する。

なお、2020年東京オリンピック競技大会への対応という特別な事情を考慮し、原則として各大会開催年の3年前までに国体委員会にて決定する。

## (4) 正式競技（種目・種別）実施時の経費等

### 1) 競技会経費等について

競技会（ブロック大会含む）実施に伴う経費等については、国、日体協及び中央競技団体において協議・検討し、開催県及び会場地市町村に負担の生じないよう対応する。

### 2) 選手・監督の派遣経費等について

選手・監督の派遣に伴う経費等については、正式競技（種目・種別）が都道府県対抗形式で実施され、総合成績の対象となることから、参加都道府県の対応とする。

## 3.その他

(1) 本実行計画に定めのない事項については、「国民体育大会開催基準要項」等に定める規定に準拠する。また、本実行計画の内容を変更する場合は、国体委員会で協議し決定する。

(2) 平成35（2023）年・第78回大会以降における本実行計画の対象競技・種目・種別の取扱いについては、実施競技選定に基づく実施競技の区分（正式競技・公開競技等）や、当該種目・種別の正式競技（種目・種別）導入条件の充足状況を踏まえ、改めて中央競技団体、開催県及び都道府県体育（スポーツ）協会等と調整し決定する。

### <資料>

- No.1 対象競技・種目・種別の選定について
- No.2 正式競技（種目・種別）実施までのスケジュール
- No.3 正式競技（種目・種別）実施時の規模等



# 「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」 対象競技・種目・種別の選定について

国体における実施競技の区分や実施競技選定の状況を加味した上で、オリンピック競技大会と国体を比較し、国体で実施されていない競技・種目・種別について、当該中央競技団体に対する調査やヒアリングの結果を踏まえて選定した。

## (1) 国体における実施競技・種目・種別

### ●実施競技の区分

- ・正式競技：1大会（冬季大会含む）あたり40競技  
   毎年実施競技：毎年実施する競技  
   隔年実施競技：隔年で実施する競技  
   開催地選択競技：隔年実施競技のうち、当該年に隔年実施の対象となっていない競技の中から開催都道府県が選択する競技
- ・公開競技
- ・特別競技
- ・デモンストレーションスポーツ

### ●実施競技選定

各大会の実施競技は、国内外における競技の位置づけや競技の普及状況及び統括する中央競技団体の組織体制の整備状況等を評価し、4大会ごとに見直すこととなっており、第77回大会まで決定している。第1期及び第2期ともに、各大会において実施する正式競技は本大会37競技、冬季大会3競技としている。

第1期：第70回大会【平成27(2015)年】～第73回大会【平成30(2018)年】

第2期：第74回大会【平成31(2019)年】～第77回大会【平成34(2022)年】

### ●実施種目・種別

各実施競技における種目・種別については、開催県の諸条件も考慮の上、主催者間の協議により開催県内定時に決定することとなっている。

種別については、原則として成年男子・成年女子・少年男子・少年女子とすることとなっている。

## (2) オリンピック競技大会との比較

### ●競技

近代五種、テコンドーが、国体では未実施となっている。

なお、トライアスロンについては、第69回大会（長崎県）は公開競技、第70回大会（和歌山県）から第73回大会（福井県）は正式競技（隔年実施競技）、第74回大会（茨城県）から第77回大会（栃木県）は正式競技（毎年実施競技）とすることが決定している。

<国体 [平成25(2013)年・第68回・東京]：37競技>

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ

※下線競技は、オリンピック競技大会未実施競技。

※二重下線競技は、平成28(2016)年リオデジャネイロオリンピック競技大会から実施。

<オリンピック競技大会 [平成24(2012)年・第30回大会・ロンドン]：26競技>

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、卓球、馬術、フェンシング、柔道、バドミントン、射撃（ライフル、クレール）、近代五種、カヌー、アーチェリー、**トライアスロン**、**テコンドー**

※網掛競技は、国体未実施競技

●種目・種別

種目では、陸上競技のマラソン、水泳のオープンウォータースイミング、バレーボールのビーチバレーボール、体操のトランポリン、自転車のマウンテンバイク・BMX等が、国体では未実施となっている。

種別では水泳の水球、ボクシング、レスリング、ウエイトリフティング、自転車等の女子種別が、国体では未実施となっている。

### (3) 選定方法

上記を踏まえ、「国体における2020対策プロジェクト」において協議し、国体委員会で、以下の通り選定した。

●競技

○近代五種

競技特性や現在の登録競技者が極端に少ない状況に鑑み、都道府県対抗としての実施が不可能であると判断し、対象から除外した。

○トライアスロン

正式競技（隔年実施競技）として実施対象となっていない第70回大会（和歌山県）及び第72回大会（愛媛県）における取扱い（イベント事業としての実施）については、本実行計画の対象とした。

○テコンドー

本会加盟競技団体の競技でないため、対象から除外した。

●種目・種別

国体で未実施となっている種目・種別のうち、当該中央競技団体に対する調査やヒアリングの結果を踏まえて選定した。

なお、陸上競技のマラソン、自転車のマウンテンバイク・BMXについては、当該中央競技団体の意向（中央競技団体主催大会による強化等）を踏まえ、対象から除外した。

また、陸上競技の10,000mや水泳の1500m自由形などの国体未実施種目については、当該中央競技団体の意向を踏まえ、現行の実施種目との入れ替えなどにより対応する。

### (4) 選定結果

競 技	種 目	種 別
水 泳	水球	女 子
	オープンウォータースイミング	男子・女子
ボクシング		女 子
バレーボール	ビーチバレーボール	男子・女子
体 操	トランポリン	男子・女子
レスリング		女 子
ウエイトリフティング		女 子
自 転 車	トラック・ロード	女 子
ラグビーフットボール	7人制	女 子
トライアスロン		男子・女子

※平成28(2016)年リオデジャネイロオリンピック競技大会において、実施競技・種目・種別に変更等があった場合は、当該中央競技団体からの要望に基づき、主催者間で協議する。

# 「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」 正式競技（種目・種別）実施までのスケジュール

2014/8/23現在

実行計画		ステップ1	ステップ2	ステップ3							
実施競技選定				【第1期】			【第2期】			【第3期】	
大会		平成26年 (2014年)  第69回  長崎県  東京オリンピック 開催6年前	平成27年 (2015年)  第70回  和歌山県  5年前	平成28年 (2016年)  第71回  岩手県  4年前	平成29年 (2017年)  第72回  愛媛県  3年前	平成30年 (2018年)  第73回  福井県  2年前	平成31年 (2019年)  第74回  茨城県  1年前	平成32年 (2020年)  第75回  鹿児島県  東京 オリンピック	平成33年 (2021年)  第76回  三重県  1年後	平成34年 (2022年)  第77回  栃木県  2年後	平成35年 (2023年) ・第78回～ 平成38年 (2026年) ・第81回
実施形態		イベント事業	イベント事業	正式競技（種目・種別）又はイベント事業							
競技	種目・種別	※過去大会において実施実績がある種目・種別を中心に実施	※調整が整った種目・種別において実施	※正式競技（種目・種別）導入条件を満たした種目・種別のうち、各大会の開催県等との調整が整った種目・種別を正式競技（種目・種別）として実施 ※正式競技（種目・種別）導入条件を満たさない種目・種別及び条件を満たしたものの各大会の開催県等との調整が整わなかった種目・種別はイベント事業として実施							
		水泳	水球・女子  オープン ウォータースイミング ・男女	正式競技（種目・種別）の場合：1チーム11名・12県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等  正式競技（種目・種別）の場合：男女各1名・47県参加で実施 イベント事業の場合：プールを利用したデモンストレーションや体験会等							
ボクシング	成年女子	(エキシビジョンマッチ) トップ選手による実戦形式試合 (8階級8試合)	正式競技（種目・種別）の場合：1階級（フライ級）のみ（参加県数は調整中）で実施 → 段階的に階級・参加県数を増加 → 最終的には3階級（フライ、ライト、ミドル級）・18県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等								
バレーボール	ビーチ バレーボール ・男女	(エキシビジョンマッチ等) ・トップ選手による実戦形式試合、 高校生とのチャレンジマッチ ・地元ジュニア選手の体験教室	正式競技（種目・種別）の場合：男女（1チーム2名・16県参加）で実施 → 段階的に参加県数を増加 → 最終的には男女各24県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等								
体操	トランポリン ・男女	(エキシビジョン) トップ選手による演技披露及び 競技ルール解説等	・69回大会実施 →内容を充実	正式競技（種目・種別）の場合：成年少年男女各1名（参加県数は調整中）で実施 → 段階的に参加県数を増加 → 最終的には16県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等							
レスリング	女子	(エキシビジョンマッチ等) ・トップ選手による実戦形式試合 ・地元ジュニア選手の体験教室	・69回大会未実施 →イベント事業として実施	正式競技（種目・種別）の場合：1階級(53kg級)のみ（参加県数は調整中）で実施 →段階的に階級・参加県数を増加 → 最終的には4階級（48、53、58、63kg級）・47県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等							
ウエイトリフティング	女子	(記録会形式の試技等) ・ジュニア選手による記録会 ・オリンピック選手の模範演技	正式競技（種目・種別）の場合：2階級（-53、-63kg級）で実施（参加県数は調整中） → 段階的に階級・参加県数を増加 → 最終的には6階級（48、53、58、63、69、+69kg級）・47県参加で実施 イベント事業の場合：記録会等								
自転車	女子	(エキシビジョンマッチ) トップ選手による実戦形式試合 (4種目)	正式競技（種目・種別）の場合：トラック3種目（チームスプリント、ケイリン、スクラッチ） で実施（参加県数は調整中） → 段階的に種目・参加県数を増加 → 最終的には6種目（トラック：5、ロード：1）・47県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等								
ラグビーフットボール	7人制・女子	(エキシビジョンマッチ) ・トップ選手による実戦形式試合	正式競技（種目・種別）：1チーム10名・10県参加で実施 → 段階的に参加県数を増加 → 最終的には16県参加で実施 イベント事業の場合：エキシビジョンマッチ等								
トライアスロン	男女	公開競技	イベント事業 (エキシビジョン マッチ等)	正式競技 (隔年実施 競技)	イベント事業 (エキシ ビジョンマ ッチ等)	正式競技 (隔年実施 競技)	正式競技 (毎年実施競技)				
正式競技 (種目・種別)	実施対象 決定時期	—	—	平成26年 (2014年) 6月	平成26年 (2014年) 12月	平成27年 (2015年) 6月	平成28年 (2016年) 6月	平成29年 (2017年) 6月	平成30年 (2018年) 6月	—	
	導入決定時期	—	—	平成26年 (2014年) 12月	平成27年 (2015年) 6月	平成27年 (2015年) 8月	平成28年 (2016年) 6月	平成29年 (2017年) 6月	平成30年 (2018年) 6月	平成31年 (2019年) 6月	

# 国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画

## 正式競技（種目・種別）実施時の規模等

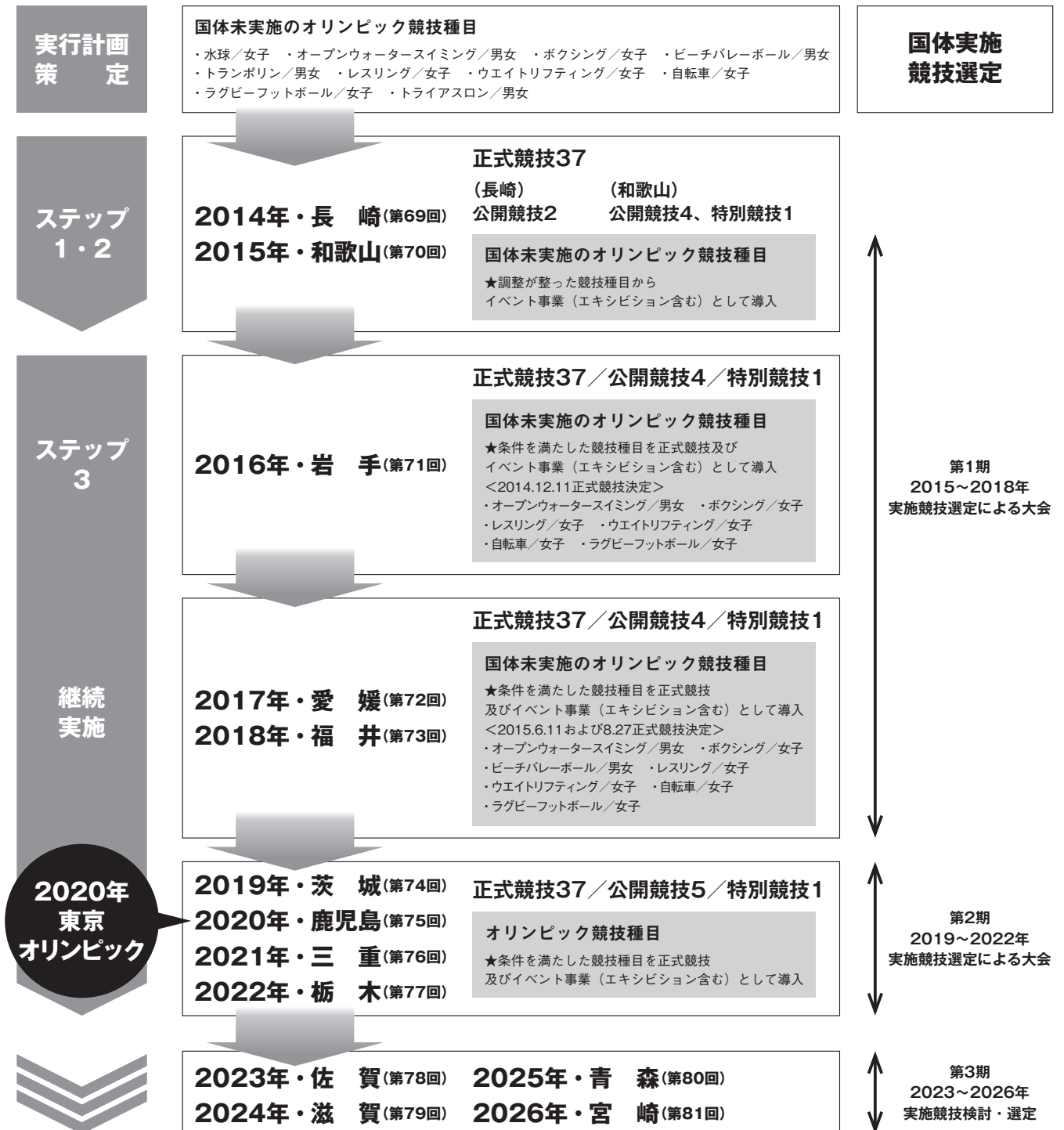
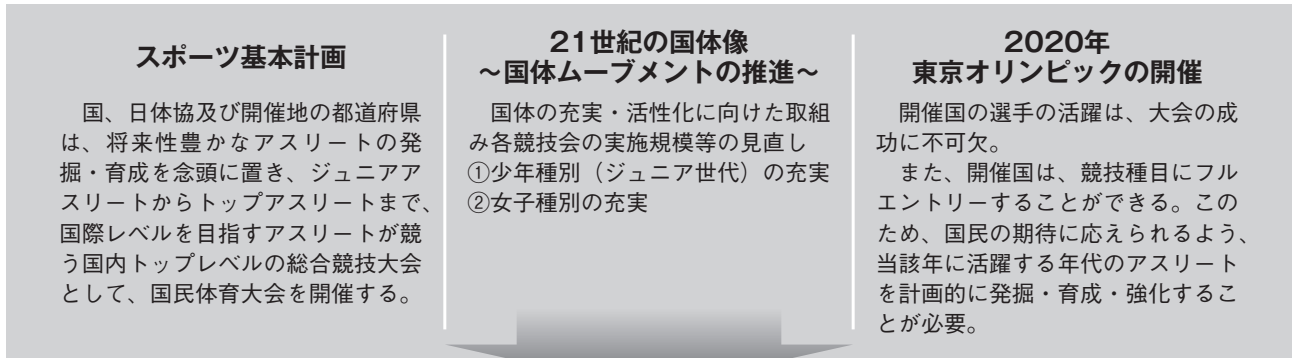
2014/8/28現在

競技	種目 (最大)	種別	参加人員						現行の競技日数 との比較 ※( )内は現行の競技日数	必要施設・設備・役員等	競技得点	
			内訳			小計		合計				
			監督	選手	県数	監督	選手					
水泳	水球	女子 (成年少年共通)	1	11	12	12	132	144	1日増 (3日間)	・フィールドプレーヤー7名 ・ボールの重さが男子と異なる ・フィールドサイズ(縦)が男女で異なる(男子30m、女子25m) ・追加日程分の会場(プール)借上料が必要 ・追加競技役員なし (※1日増分の謝金等が必要)	180	
	オープン ウォータースイミング	男子 (成年少年共通) 女子 (成年少年共通)	1	1	47	47	47	47	1日増 (未実施)	・トライアスロン競技会場(スイム)で実施可能 ・ゴールタッチ板が必要(簡易的なもので十分) ・競技役員必要数:0~約40名 (※競泳等競技役員が対応することも可能)	72	
ボクシング	3階級: フライ ライト ミドル級	成年女子	1	3	18	18	54	72	増減なし (5日間)	・リングは男子の規格と同様 ・会場の追加借上げは不要 ※男子(5日間)の合間に競技実施 ・女子検診・計量部屋等の確保が必要 ・試合数増に伴い、ヘッドガード・グローブ等の追加購入が必要 ・追加競技役員なし	108	
バレーボール	ビーチバレーボール	男子 (成年少年共通) 女子 (成年少年共通)	1	2	24	24	48	48	3日増 (未実施)	・必要コート面数:5面(練習用コート含む) ・砂浜以外(テニスコート等)に砂を敷き詰める方法でも実施可能 ・競技役員必要数:約100名(/1日)	216	
体操	トランポリン	成年男子	1	1	16	16~47	16	16	2日増 (未実施)	・体育館1 ・トランポリン台は最低2台 (競技:1、練習:1) ※4台が望ましい ・得点計算等の記録システムが必要 ・競技役員必要数:約50名(/1日)	144	
		成年女子		1	16							16
		少年男子		1	16							16
		少年女子		1	16							16
レスリング	フリースタイル 4階級: 48kg級 53kg級 58kg級 63kg級	女子 (成年少年共通)	1	2	47	47	94	141	増減なし (4日間)	・参加都道府県は4階級中異なる2階級を選択 ・会場・マット等の追加借上げは不要 ※マットは男子の規格と同様 ・マット4面であれば男子(4日間)の合間に競技実施可能 ・女子検診・計量部屋等の確保が必要 ・追加競技役員なし	144	
ウエイト リフティング	6階級: 48kg級 53kg級 58kg級 63kg級 69kg級 +69kg級	女子 (成年少年共通)	0 ※全種別共通	1~4	47	0	78	78	増減なし (5日間)	・1階級あたり13名程度×6階級 ・会場の追加借上げは不要 ※男子(5日間)の合間に競技実施可能だが、競技時間短縮が必要 ・女子用シャフト(15kg)3本程度の追加購入が必要 ・追加競技役員なし	216	
自転車	6種目: 【トラック】 500mタイムトライアル、 ケイリン、スクラッチ、 ポイントレース、 チームスプリント 【ロード】 個人ロードレース	女子 (成年少年共通)	1	3	47	47	141	188	増減なし (トラック・4日間、 ロード・1日)	・参加都道府県は6種目中異なる3種目を選択 ・女子用更衣室、仮設トイレ等が必要 【トラック】 ・会場の追加借上げは不要 ・追加競技役員なし 【ロード】 ・コース下見用の車両借上げが必要 ・追加競技役員:約20名	288	
ラグビー フットボール	7人制	女子 (成年少年共通)	1	10	16	16	160	176	増減なし (5日間)	・成年男子同様2日間で実施可能 ・試合数増に伴う追加のボール購入が必要 ・追加競技役員:約50名 (※男子競技役員が対応することも可能)	180	
トライアスロン		成年男子	1	2	47	47	94	94	1日増 (未実施)	・スイム、バイク、ラン、それぞれのトランジットに関わる機材・設営が必要 ・競技役員必要数:約250名	216	
		成年女子	1	2								47

全競技参加の場合の1県あたり最大人数      11名      47名      小計(トライアスロンを除く) 1,195名      小計(トライアスロンを除く) 1,548点  
 総計1,477名      総計 1,764点

※上記は正式競技(種目・種別)実施時に想定される最大の規模等を示しており、各大会における実施規模等は、登録競技者数や会場の競技施設・設備、宿泊施設の状況等を踏まえ、各大会の開催県等と調整する。  
 ※予選会(都道府県・ブロック)の実施方法については、本大会の実施規模等に基づき調整する。  
 ※競技役員数は補助員等のスタッフの人数も含む。

# 国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画 (オリンピック競技種目導入)




# 「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」 正式競技（種目・種別）導入状況

H28.3

競技	種目・階級等	種別	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
			第71回	第72回	第73回	第74回
			岩手県	愛媛県	福井県	茨城県
			実施決定 (H26.12国体委員会)	実施決定 (H27.6国体委員会)	実施決定 (H27.8国体委員会)	実施決定<予定> (H28.6国体委員会)
水泳	水球	女子 (成年少年共通)	実施なし	実施なし	実施なし	女子選手11名：12県参加
	オープン ウォーター スイミング	男子 (成年少年共通)	男女各選手1名：47県参加	男女各選手1名：47県参加	男女各選手1名：47県参加	男女各選手1名：47県参加
		女子 (成年少年共通)				
ボクシング		成年女子	フライ級： 女子選手1名：16県参加	フライ級： 女子選手1名：16県参加	フライ級： 女子選手1名：16県参加	フライ級： 女子選手1名：16県参加
バレーボール	ビーチ バレーボール	男子 (成年少年共通)	実施なし	男女各選手2名：16県参加	男女各選手2名：16県参加	男女各選手2名：47県参加
		女子 (成年少年共通)				
体操	トランポリン	男子 (成年少年共通)	実施なし	実施なし	実施なし	男女各選手1名：18県参加
		女子 (成年少年共通)				
レスリング	フリースタイル	女子 (成年少年共通)	53kg級： 女子選手1名：47県参加	53kg級： 女子選手1名：47県参加	53kg級： 女子選手1名：47県参加	53kg級、63kg級： 女子各選手1名：47県参加
ウエイト リフティング		女子 (成年少年共通)	53kg以下級、63kg以下級： 女子各選手1名：16県参加	53kg以下級、63kg以下級： 女子各選手1名：16県参加	53kg以下級、58kg級、 63kg級： 女子各選手1名：16県参加	53kg以下級、58kg級、 69kg以下級： 女子各選手1名：16県参加
自転車		女子 (成年少年共通)	【トラック】 ケイリン、スクラッチ、 チームスプリント： 女子選手2名：47県参加	【トラック】 ケイリン、スクラッチ、 チームスプリント： 女子選手2名：47県参加	【トラック】 ケイリン、スクラッチ、 チームスプリント： 女子選手2名：47県参加	【トラック】 ケイリン、スクラッチ、チームスプリント、 【ロード】 個人ロードレース： 女子選手2名：47県参加
ラグビー フットボール	7人制	女子 (成年少年共通)	女子選手10名：10県参加	女子選手10名：10県参加	女子選手10名：10県参加	女子選手10名：12県参加
トライアスロン		成年男子 成年女子	実施	対象外	実施	実施



 **国民体育大会におけるオリンピック女子種目  
導入に関する調査研究** 

[有識者会議委員]

泉 正文	公益財団法人日本体育協会 専務理事 公益財団法人日本水泳連盟
荒川 昇	公益財団法人日本体育協会 国民体育大会委員会副委員長 公益財団法人千葉県体育協会
松丸 喜一郎	公益財団法人日本体育協会 国民体育大会委員会委員 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本ライフル射撃協会
ヨーク セッターランド	公益財団法人日本体育協会 国民体育大会委員会委員 嘉悦大学
神野 賢治	富山大学

(順不同)

[調査協力者 — 第1年次 — ]

山本 浩二	北九州市立大学
阿南 祐也	NPO法人長崎ウェルネススポーツ研究センター

(順不同)

スポーツ庁委託事業

平成 27 年度女性アスリートの育成・支援プロジェクト

国民体育大会における  
オリンピック女子種目導入に関する  
調査研究 —— 第2年次 ——



発行日／平成 28年3月31日

公益財団法人日本体育協会 <http://www.japan-sports.or.jp/>

国民体育大会におけるオリンピック女子種目導入に関する調査研究 有識者会議

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2217

